

平成 17 年 4 月 1 日

3号機タービン建屋海水ストームサンプルピットへの水の流入について

当所 3 号機は定期検査中ですが、平成 17 年 3 月 31 日午後 7 時頃、空気圧縮機^{*1}の冷却設備の点検を実施していたところ、冷却に使用した水を一時的に受けるタービン建屋内のタンク（「海水ストームサンプル」^{*2}）の水位が高くなったことを示す警報が発生しました。

当直員がタービン建屋地下 2 階の現場を確認したところ、同タンクから溢れた水が海水ストームサンプルピット^{*3}へ流れ込み滞留していたことを午後 7 時 40 分頃確認しました。（添付図「系統概略図」参照）

サンプルピットに流入した水は約 700 リットルで、放射能による汚染は無く、今後回収処理いたします。

なお、同タンクの排水ポンプは現場確認中に自動起動し、タンク内の水位は下がりました。

調査の結果、サンプルピットに水が流れ込んだ原因は、同タンクの水位が排水ポンプを起動させるレベルに到達しても排水ポンプが起動せず、タンク内の水が満杯となりサンプルピットに溢れ出たものと推定いたしました。今後、起動しなかった原因を調査し、必要な対策を講じることといたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 : 空気圧縮機

空気作動工具、機器の洗浄、フィルタの逆洗及びタンクのかく拌等の空気を供給する設備です。

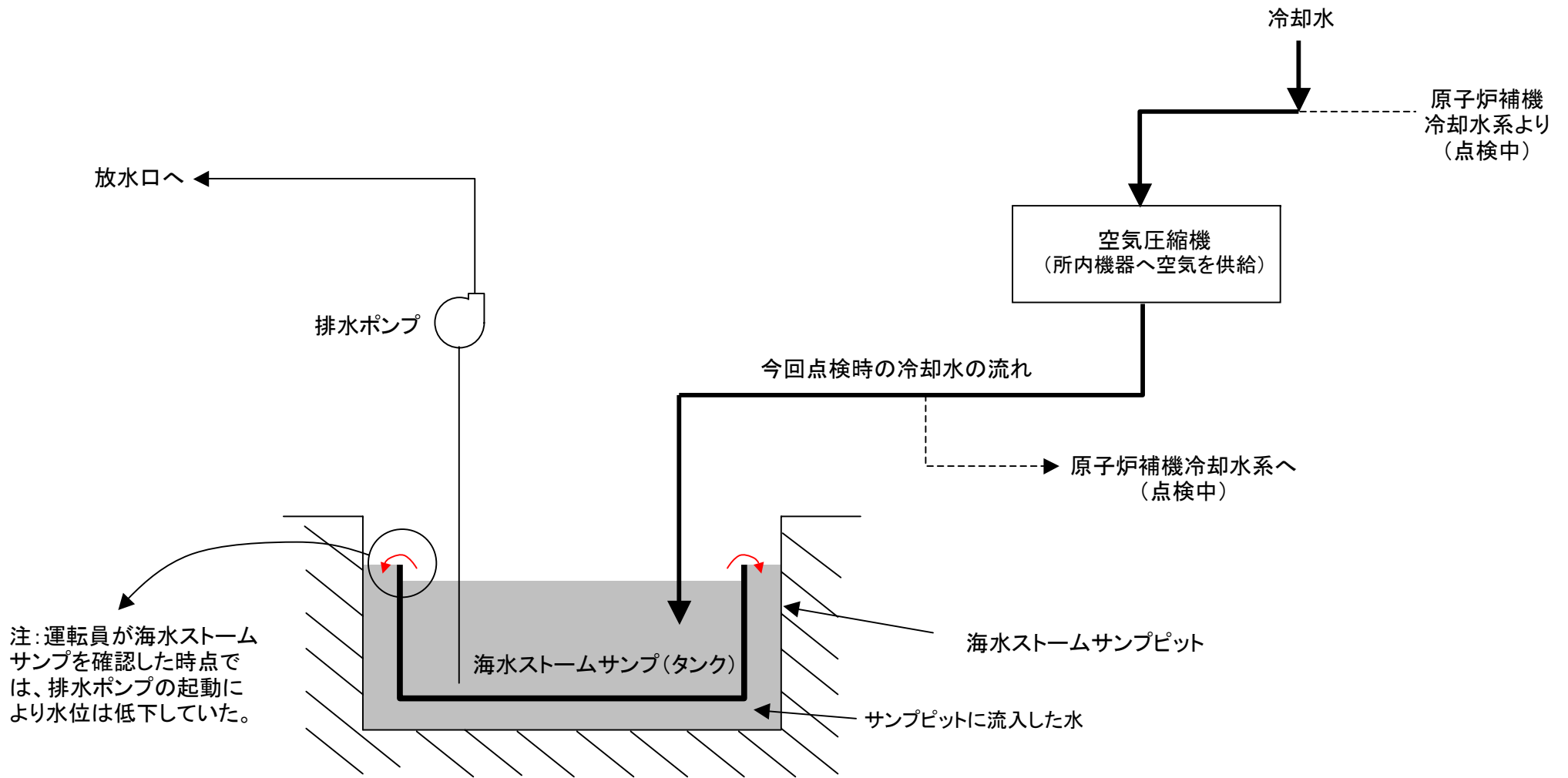
* 2 : 海水ストームサンプル

タービン建屋内の復水器冷却水に使用される海水および各建屋内の機器からの非放射性的の排水等を受けるためのタンクです。

* 3 : 海水ストームサンプルピット

海水ストームサンプルより漏れ出した水を受けるために、同サンプル周りに設置された堰（せき）です。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における、区分 に該当するものとしてホームページに掲載したものです。



← : 流入経路

系 統 概 略 図